

「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」

標語

国際会長 "Let's Show-Let's Grow"
「示そうワイズ！伸ばそうワイズ！」

アジア会長 "Let's Join under the Y's Men's Flag"
「ワイズメンの旗のもとに」

西日本区理事 "Let's move forward with conviction!"
「確信を持って前進しよう！」

京都部部長 「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」

西日本区強化月間

Public Relation Wellness

会長 岩本敬子
副会長 山下太郎
書記 島田博司 牧野万里子
会計 中原一晃

クラブ会長標語 「笑 顔」 喜んで、楽しんで、感謝して。

『 広報活動の必要性 』

野田 泰伸



何事に於いても発展する為に、広報活動は必要なことと思います。企業ではマスメディアやホームページを利用して宣伝します。ワイズメンズクラブでも区或いは部のホームページがあり、各クラブでも独自の広報活動を行っております。しかし、一般的にワイズメンズクラブの知名度はまだ低いという実感が

あります。人間生活において趣向も多種多様にあるように、人々が興味を持っていることも様々です。ボランティア、そして私達の活動に興味を持ってくれる人がどれだけおられるでしょう。

今期EMC2000推進チームが活動されワイズメンズクラブの活動等を今まで以上に一般の人に伝えていることでしょうか。伝え方や誘い方も様々だと思いますが、ワイズメンズクラブの説明ではなく、メンバー自身が体験や感動を交えたほうがより確実に理解されることと思います。それは他の広報の媒体には無いものです。

そして、広報活動或いはメンバー獲得の為の行動を起こす為には個人々の強い意欲が必要です。メンバ

ー同士が刺激しあい士気を高めることも大切です。口コミの広報をするためにはワイズメンズクラブやYMCAのことを正しく理解し、また積極的に行事に参加することが不可欠だと思います。

テレビコマーシャルは15分ごとに放映されるので、内容を一時的に記憶されます。そして次々と新しいものを見ると前のことを忘れてしまいます。ワイズメンズクラブも必要以上に広報しないと、どんどん忘れられてしまいます。

根気強く継続的な広報、特に若い世代の人たちに印象的な広報をすることがワイズダムの発展にもつながると思います。

今月の聖句

彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」イエスは言われた。「正しい答えた。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

(ルカによる福音書第10章27-28節)

10月在籍者		例会出席率				BFポイント		ニコニコ		ファンド	
会員		第一例会	第二例会			切手	Opt	第一例会		ネットファンド	
23名		メン 17名	18名			現金	Opt	0円		0円	
広義・功労会員		メネット 0名	3名	(メイキャップ含む)				第二例会			
0名		コメット 0名	0名					12000円			
		ビジター 0名	0名	前月出席率	累計						ファンド
		ゲスト 0名	11名	修正	切手	Opt		累計12000円			年間合計
合計	23名	計 17名	32名	なし	現金	Opt					43,057円

10月第一例会(ファンド例会)
2007年10月11日(木)リーガロイヤルホテル
書記 牧野 万里子

岩本会長の開会点鐘で、第631回目の例会が始まりました。今回はファンド例会のプログラムは、京都部ファンド主査、中村ワイズの「BFファンドについてのおさらい」というテーマのスピーチとEMCアンケートの結果報告会です。中村ワイズのスピーチでは、西日本区における主な3つのファンド事業である、BF、FF、JEW、の歴史と内容とについてわかりやすく説明していただきました。私達がワイズ活動を通して受けている恩恵に対する恩返しの意味で、ファンド事業に係わっていくことが大切な事だと改めて実感いたしました。

そしてEMCアンケートの結果報告会では、メンバーから積極的な意見が飛び交いました。今のクラブの問題点としては、メンバーが少ない事、行事が多すぎる事、メンバー間のコミュニケーションが少ない事、YMCAとの係わり方、その他多くの問題点が挙げられました。メンバー同士でこのような意見交換会をする機会ほとんどなかったので、今回の企画はとても有意義であったと思います。クラブに対する係わり方や考えには、メンバーそれぞれに違いがあると思いますが、“ウエスとクラブを、活気ある素晴らしいクラブにしたい！メンバー間で親睦を深めたい！”という強い思いは皆同じである事が感じられました。

大切な事は、今回の意見交換会だけで終わるのではなく、メンバーが知恵を出しあって、実際に行動していくことではないでしょうか。私がワイズに入会した理由は、メンバー同士の親睦を通じて奉仕活動をしながら、自分自身も成長できる自己研鑽の場であると感じたからです。

まずは、30周年にむけて魅力あるクラブ作りを考えながら、積極的に行動し、自分自身も成長していきたいと思っております。

びわこ部会

2007年10月14日滋賀県彦根市
会長 岩本 敬子

以前から、一度は聞いてみたいと願っていた、瀬戸内寂聴さんのお話。

びわこ部会式典の前に、清涼寺境内にて、聞いて参りました。85歳とは思えない、声の張り明るさ、あばら骨が折れているにもかかわらず1時間以上立ちっぱなしの講演。

人生的にはいろいろな経験をつんできていることは承知だが、若々しさの秘訣は何かと疑ってしまいました。話の内容を聞いて、ガッテン！「忘己利他」(もう懲りたと覚える。)である。文字どおり、己を忘れ他を利する。誰もが幸せになりたいと願います。ただその願いが、自分だけなのか？自分とその周辺なのか？それともすべての人なのか？ここに違いが出てくるのだと。もちろん寂聴は、すべての人であり、現実この境内に集まっている皆を幸せな思いにさせているのだから。。。他にも、いろいろお話をされ、質問にも丁寧に答えになっていました。私は「忘己利他」の精神で、

これから死に向かって生きていきます。(人は死ぬ為に生まれてきた。逆さまに生きる事はできない。だから、今日を十分生きよう。)

そして場所を移して、彦根プリンスホテルへ。これから、第12回びわこ部会。式典及び懇親会の始まりです。彦根市長のご挨拶では、彦根市400年祭の意気込み等、熱い思いが伝わってきましたし、懇親会では、よし笛演奏 はなちゃんずの2人組。私自身10代に歌っていた懐かしい曲を、吹いていただき、しみり聞き入っていました。地元を大事にしている部会でした。早めに着いたせいか11時半から、終了時間が、7時過ぎとなり、最後はちょっと疲れ気味。彦根シャーククラブの皆さんこそお疲れだったことでしょう。ご苦労様でした。本当に感謝いたします。

寂聴さんの講演では市民を巻き込んで、総勢1500名超え人を動員し、広報活動は、全国のワイズの中でもとび抜ける力を持っていると感心させられました。京都部もちょっと見習うところですね。

ポテト配達ワーク

2007年10月13日(土)松岡満運輸
ブリテン委員長 市橋 清太郎

今年のポテト配達ワークの日は穏やかな秋晴れとなり、絶好の配達日より！？でした。(雨だと本当に大変ですし・・・)ただ今回は、メンバーの出席率が悪く、少人数で大変そうだと思っていましたが、藤居ファンド委員長の苦心の配達スケジュール管理で昼過ぎには大半の配達が終わわり、予定通りに無事終わることができました。ワークに参加のメンバーお疲れ様でした。藤居コメント、安平コメント、お手伝いありがとうございました！今年もワイズポテトをお買い上げ頂いた皆様、ありがとうございました！

10月第二例会

2007年10月25日(木)リーガロイヤルホテル
副会長 山下 太郎



定刻通り19:00より岩本会長の開会点鐘で例会が始まりました。会場がランゴニーユであったせいもありいつもより華やかな雰囲気スタートしたように思います。

一燈園の相大二郎園長のご講演と森田EMC委員長の意気込みもありゲストの数もいっしょに多く賑わいを感じました。岩本会長の挨拶の後紹介者からそれぞれ

ゲストの紹介がありこれだけのメンバー数に増えれば活気付くなぁと痛感いたしました！

食事の後いよいよ相先生の講演タイムとなり全員が先生の話に聞き入り、あっという間に時間が過ぎたように思います。講演のテーマは「ここはどこだろう」という内容でしたが哲学的でもあり前半少々難しい内容かとも思われましたが非常に分かりやすく本当に良い勉強をさせていただきました。「正しいことを口で教えてもだめ」本当に伝えたいことは態度や精神で伝えるべきことである、自然は安定しようとしており本来人間は優しく、親切でありたいとみんなが思っている、しかしながら今はその反対を大人が子供に伝えていとお話しになり、なるほどな思いました。また最後に一燈園の創始者西田天香師の言葉として「無一物無尽蔵」と言う言葉の説明を頂きました。なかなか出来ることではありませんが人間の目指す生き方としてはなく全ては預かり物として生きていけば世の中は平和になるという内容です。短い言葉ではありますが宗教観も含めまさに究極の言葉ではないでしょうか。まだまだ話をお聞きしたかったのですが定刻になりました是非何かの機会でお会いしたいと思います。引き続きハッピーアパースデー、ハッピーアニバーサリーと続き桂ワイズの少々強引めのニコニコタイムの後岩本会長の閉会点鐘で例会が終了いたしました。私としては本当に意義のある話を聞くことが出来良かったと思えました。今後もドライバー委員会に期待したいです！

新連載コラム 森田ワイズの
『京都ウエスト温故知新(第二部)』
その9 IBCトライアングル締結と
次期日本区理事の誕生

クラブ総揚げで取り組んだ創立10周年記念行事を終え、新たなる10年に向けてスタートしたわがクラブは、10年の実績を踏まえて平安徳議会夏祭りはもとより、クリーン乙訓「530(ゴミ0)運動」に参加のほか、第2回ゲートボール大会や洛西タイムソンの開催など地域社会での存在を更に深める活動を展開しました。

一方、IBC事業に特筆すべき出来事がありました。すでにIBC締結のあと親密な交流を続けて来ていた韓国鍾路クラブが、鍾路とのIBCであった台北ダウンタウンクラブとの素晴らしい縁を繋いでくれたのでした。

当時台北ダウンタウンは埼玉クラブとのIBC関係が休止状況となっていたため、埼玉クラブの了承を得たのち、台北にIBC締結を打診したところ、先方も創立10年にしてバイタリティ溢れる元気クラブのこととて、日本区においても活躍が目されるウエストとは願ってもないとの承諾を得たのでした。

1990年11月末、台北ダウンタウンクラブとのお見合いのために台北を初訪問。心温かい歓迎を受ける中で、締結への理解と手順を打ち合わせました。つづいて翌年3月第一例会に台北からの代表が来訪され最終協議。そして6月7日下田にて開かれた第46回

日本区大会にてIBC締結式を挙行。この締結によって台湾はわれわれにとって、より身近な国となったのです。

つづく9月28日、台湾高雄において開かれたアジア地域大会の2日目、ワイズメンズナイトのメイン会場の晴れ舞台にて台北ダウンタウン・鍾路・京都ウエスタのIBCトライアングル締結式が行われました。大会参加の大勢のワイズメンからの嵐のような拍手と祝福の歓声を受けた3ヶ国のワイズメンは、いつしか肩を組あいひとつになっていました。

国を越え、民族の風習を越え、キリストの愛に基づく友愛をひろめることが国際平和の根源であり、そこにIBC締結式の意義があることを確かめられた一瞬でした。肩を抱き合いあたたかい握手で心を交わせた言いようのない感激は、その場に参加したメンバーだけが体感し得る事であり、ウエストメンバーの皆さんも今後この様な感動を得る機会にはぜひとも参加していただきたいとの願い切なるものがあります。

以上のようにIBC事業に歴史的なエポックを刻んだ当時のウエストは会員数も40数名を擁し、つねに活気漲るものがありました。こうした元気クラブの雰囲気から、森田ワイズを日本区理事に推挙しようとの気運が盛り上がり、2年後の1992年～1993年度には京都ウエストが理事ホームクラブという重責を担うこととなったのでした。

(2007年11月)

ちょっとメンバーにインタビュー
さて、この方は誰でしょう？

Q. 入ったきっかけは？

A. Yワイズに誘われて、10数年ですかなあ。

Q. クラブに入ってよかったことは？

A. CSですね。ボランティアをしたかったからよかったです。

Q. お仕事は？

A. です。親父がやっていたから、私は2代目のボンボンです。ほんまボンボンですわ。

Q. 大学出られてすぐ家業の会社に入られたのですか？

A. 長男ですからそんなものだと思っていました。

Q. ご趣味は？

A. 山歩きです。1人で歩くのが好きです。

Q. どんな山が好きなんですか？最近登られた山は？

A. 1000mは欲しいですね。奈良吉野です。本とかで探していくのです。

Q. 1人で登って、道に迷いませんか？

A. 1人でもしっかりした道を歩いていけば、迷うことはありません。

反対に怪しい道に入り込めば、ますますあやふやになって道がそこでなくなることがあります。

(なんか人生を語ってはるようですね)。

Q. たくさんで登るのはいかがですか？(連れて行って欲しいなあ...)

A. 1人が好きなんです。日帰りが多いですが高校時代から登っています。

11月 Schedule

10月29日	(月)	三役会	19:00~	今出川 Y M C A
11月1日	(木)	役員会	19:30~	リーガロイ ヤルホテル
11月3日	(土)	徳義会バザー	後報	後報
11月11日	(日)	第一例会(ワイズデー)	後報	リトセン
11月22日	(木)	第二例会(ツイン例会)	19:00~	リーガロイ ヤルホテル

12月 予定抄

12月3日	(月)	三役会	19:00~	今出川 Y M C A
12月6日	(木)	役員会	19:30~	リーガロイ ホテル
12月13日	(木)	第一例会(BF ポーリング大会)	後報	しょうざん
12月22日	(土)	第二例会 (クリスマス例会)	後報	リーガロイ ホテル
12月?日		ウエスト忘年会	後報	未定

11月 Happy Birthday

	メン	メネット
	中原 一晃	島田 由美子
	大西 光子	辻中 博子

11月 Happy Anniversary

	立山隆一・益子	
	大西光子・洋	
	野田泰伸・君子	

11月 他クラブ例会案内

	第一例会		第二例会	
	日程	場所	日程	場所
パレス	12日	オータムフェスタ	22日	ブライトン
洛中	11日	ワイズデー	22日	全日空
みやび	1日	三条 YMCA	15日	セントノーム

10月 役員会議案報告

	内容	結果
議案1	12/23 クリスマス例会のPT委員長を松本ドライバー委員長とする。 委員についてはPT委員長に一任する。	承認

YMCA News

1. 世界YMCA・YWCA合同祈祷集会

毎年11月第2週は、世界YMCA・YWCA合同祈祷週として、同じ日に全世界に広がる両団体で熱い祈りがささげられます。京都YMCAでは、今年も昨年につづいてYWCAと合同で祈りのひとときをもつべく計画しております。
日時 11月17日(土) 午後6時30分
会場 京都YMCA国際福祉専門学校 烏丸今出川
テーマ 「何よりも大切な子どもたち」
講師 鍛治田 千文さん 大阪YMCA国際専門学校 表

現・コミュニケーション学科学科長

参加費 500円(簡単な軽食を用意します。)

2. リートセンターオータムフェスタ

都会の雑踏を離れて、ご家族やお友達と秋の自然をお楽しみください。

自由参加型プログラムとして綱引き大会・宝探しゲームなどリートセンターを使った楽しいプログラムを用意しております。

日時 11月11日(日) 午前11時~午後3時

場所 京都YMCAリートセンター

入場料 大人2,000円 小学生1,000円 幼児 無料

駐車場無料・三条YMCA、京阪宇治駅、JR宇治駅よりマイクロバスあり〔有料・予約制〕

3. 国際協力募金街頭募金にご参加を

11月3日(土・祝)は京都YMCA国際協力街頭募金の日です。このプログラムは京都YMCA国際協力キャンペーンの一環として行われます。平和を訴えていく一つの機会として、是非ご参加・ご協力ください。

日程 11月3日(土・祝) 午後12時30分

京都YMCA 三条本館

国際理解セミナー (国際理解・国際協力にいて) 午後12時45分~午後1時30分

街頭募金 午後2時頃~午後4時頃

募金場所 三条河原町・三条大橋など市内約10ヶ所

雨天決行

4. スキーキャンプ受付会員優先

11月6日(火)~8日(木) 午前10時~午後6時

チケットのお求め・お問い合わせは

京都YMCA 三条本館

電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970

E-mail:kyoto@ymcajapan.org

今月の聖句解説

YMCA連絡主事 辻中

隣人愛とは「もらうものでも」、自分が「相手に与えるもの」でも、達成目標・倫理規範でもありません。自分が「隣人になる」ことです。自分の人生の中で出会う人、特にその中でも、課題をもち、弱さの中に立たされている人に近寄り、その人の隣人になることです。近寄り、関心をもち、そこから一緒に考え、できることをする。ですから、優しいことをすることでも、相手を甘やかすことでも、物やお金をあげることで、問題を解決してあげることでありませぬ。大切なのは、助ける方も助けられる方も互いに隣人という関係性をもつことです。

編集後記

ブリテン委員長 市橋清太郎

赤福の日付偽装問題が新聞・テレビをにぎわしています。相次ぐ食品会社の不祥事ですが、伊勢の名物の事件には一際ショックを感じます。お客様の顔を見ない利益最優先の経営体質には消費者として本当に失望しました。経営者の資質の前に人としての道徳が欠如している事が一番の原因ではないのでしょうか？ワイズメンズクラブではそういった人として大事なことを学べる場でもあるように思います。

10月第二例会での一燈園の先生のお話を彼らにも聞かせてあげたい...

今月のちょっとメンバーインタビューは中村ワイズでした。

2007年1月号より当クラブのブリテン(紙面版)はグリーン商品リスト掲載品・FSC承認パルプを使用しています。また製本は(社)京都手をつなぐ育成会 山科共同作業所(知的障害者自立支援センター)に委託しています。